

製品安全データシート

平成16年 4月14日作成 平成24年 1月10日更新

1. 製造者情報

【会社名】株式会社 オーデックコーポレーション
 【住所】東京都大田区東馬込2-19-10第7下川ビル
 【担当部門】化成品課
 【電話番号】03-5718-7425 【FAX番号】03-5718-7426
 【緊急連絡先】03-5718-7425

2. 製品名 MPS

3. 製品仕様 エアゾール

4. 物質の特定

【単一製品・混合物の区別】 混合物

【化学名】防錆剤、潤滑油と液化石油ガス(L.P.G)の混合物

【成分、含有量及びその他情報】

| 化学名 | 脂肪酸 エステル | アルキルリン酸 エステルの塩(Ca) | 石油スルホネート (Ca) | ソルビタン モノオレート | 鉱物油 | LPG |
|-----------------------|--------------|--|------------------|-----------------|-------|--------------------------------|
| 含有量(wt%) | 5~10 | | | 1~5 | 40~50 | 40~50 (ブタン20~30) |
| 化学式 | --- | ---- | ---- | --- | ---- | C_3H_8, C_4H_{10} |
| 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | 該当せず | 2-2017,9-1732,9-1692 | | 8-0063 | ---- | 3,4 |
| CAS No. | --- | 24613-61-4, 64051-27-0, 61789-86-4, 64741-84-7 | | 1338-43-8 | ---- | 74-98-6 106-97-8 75-28-5 |
| 国連分類 | 該当せず | ----- | | ---- | クラス3 | クラス2.1 |
| 国連番号 | 1950 (エアゾール) | | | | | |

5. 危険・有害性の分類

【分類の名称】 高圧ガス、可燃性ガス、引火性液体

【危険性】 揮発性が高く、引火しやすい。

【有害性】 (鉱物油)

眼に入った場合 : 刺激性はあるが、眼組織を損傷しない。

皮膚に触れた場合 : 何度も繰り返しもしくは長時間接触すると、刺激を生じ、皮膚炎をおこすこともある。

吸入した場合 : 高濃度の蒸気は、眼および呼吸器官を刺激し、頭痛及びめまいをおこさせることがある。

麻酔性があり、他の中枢神経系に影響を及ぼすことがある。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだりまたは吐き出したりする際、呼吸器系に吸入された少量の液体が、気管肺炎もしくは肺水腫をおこすことがある。

【環境影響】 データなし

6. 応急措置

- 眼に入った場合 : 流水で十分に洗い、眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に触れた場合 : 直ちに大量の石鹼水で洗う。衣服が汚染した場合は直ちに脱がせる。
- 吸入した場合 : 濃厚な蒸気を吸入したら、直ちに新鮮な空気の場所に移し、呼吸が止まっているときは、人工呼吸を行い、医師の診断を受けさせる。
- 飲み込んだ場合 : 吐かせるとかえって危険が増す。直ちに医療処置を受ける手配をする。

7. 火災時の措置

- 消火方法 : 注水禁止。初期消火は二酸化炭素、粉末、ハロゲン化物、砂で消火する。消火は泡消火器を使用して一挙に消火する。注水は火災が拡大するので、周囲への延焼防止か冷却に使用する。
- 消火剤 : 泡、炭酸ガス、粉末

8. 漏洩時の措置

- 砂、その他の不燃性吸収剤で回収する。
- 大量の流出は土砂等で流出防止を図り回収する。

9. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 火気厳禁、スパークの発生、その他火災防止に厳重に注意する必要がある。取扱いは換気のよい場所で行う。
- 保管 : 容器を密栓し、耐火構造の冷暗所で換気のよい場所に保管する。強酸化剤から離しておく。冷暗所に保管する。温度が40℃以上になる所に置かない。

10. 暴露防止措置

| | (鉍物油) | (LPG) |
|-------------------|---|----------------------------------|
| 【管理濃度】 | 規定なし | 設定されていない |
| 【許容濃度】 日本産業衛生学会 : | 記載なし | |
| ACGIH TWA : | 記載なし | 1,000ppm, 1,800mg/m ³ |
| 推薦値 : | 300ppm | |
| 【設備対策】 | タンク等の内部で作業する場合は、蒸気発生源を密閉する設備または局所排気装置又は全体換気装置を設けること。 屋内作業の場合は上記設備を設置することが望ましい。 | |
| 【保護具】 | 有機ガス用防毒マスク、保護手袋、保護眼鏡 | |

| 11. 物理／化学的性質（代表値） | （原液） | （LPG） |
|-------------------|------------|--|
| 外 観 : | 淡黄色透明液体 | 大気圧下・・・ガス状・無色・透明 |
| 沸 点 : | 154～195℃ | -42.1～-0.5℃ |
| 融 点 : | 0℃以下 | -187.7～-138.4℃ |
| 蒸気圧 : | 1.2 KPa | 0.450～0.600MPa |
| 比 重 : | 0.77 (15℃) | 液密度507.6～555.0kg/m ³ (15℃) |
| 蒸気密度 : | 1以上 | 1.895～2.538kg/m ³ (1atm, 15.6℃) |
| 溶解度 : | 水に0.1%以下 | 水に微溶 |

| 12. 危険性情報（安定性・反応性） | （鉱物油） | （LPG） |
|--------------------|----------|---------------|
| 引火点 : | 43℃ | -104.4～-73.8℃ |
| 発火点 : | 200℃以上 | 405～550℃ |
| 爆発限界 : | 0.6～7.0% | 1.6～10.0% |
| 可燃性 : | あり | あり |
| 発火性 : | データなし | データなし |
| 酸化性 : | データなし | データなし |
| 自己反応性・爆発性 : | データなし | データなし |
| 粉塵爆発性 : | データなし | データなし |
| 安定性・反応性 : | データなし | 安定 |

13. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

| | | | |
|--------------------------|---------|-----------------|---------|
| 皮膚浸食性 | : データなし | 慢性毒性 | : データなし |
| 刺激性（皮膚、眼） | : データなし | がん原性 | : データなし |
| 感作性（不致死量を含む） | : データなし | 変異原性（微生物、染色体異常） | : データなし |
| 急性毒性 | : データなし | 生殖毒性 | : データなし |
| 亜急性毒性 | : データなし | 催奇形性 | : データなし |
| その他（水と反応して有毒ガスを発生する等を含む） | | | : 知見なし |

14. 環境影響情報

| | |
|-------|-------|
| 【分解性】 | データなし |
| 【蓄積性】 | データなし |
| 【魚毒性】 | データなし |
| 【その他】 | データなし |

15. 廃棄上の注意

使用後火中に投じないこと。使いきって廃棄すること。

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

16. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないよう、積み込み・荷崩れ防止を確実に行う。

容器表示： 第2石油類、危険等級Ⅱ、184ml、火気厳禁

積載方法： 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は自治省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げること。またこの際、当該危険物に該当する消火設備を備えること。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。

混載禁止： 第一類および第六類の危険物および高圧ガスと混載しないこと。

17. 適用法令

高圧ガス保安法： 可燃性ガス

消防法： 第4類危険物 第2石油類（非水溶性液体）

労働安全衛生法： 施行令 別表第1 危険物（引火性の物）

施行令 第18条(名称を標すべき毒物)： 該当せず

施行令 第18条の2(名称を通知すべき毒物)： 鉱油、ブタン

PRTTR法： 該当せず

危険物船舶運送

および貯蔵規則： 高引火点引火性液体（クラス3.3）

18. その他

文献：①危険物データブック： 消防庁警防研究会(昭和63年)

②産業中毒便覧

③12093の化学商品： 化学工業日報社発行

④化学品安全管理データブック： 化学工業日報社発行

⑤適用法規総覧： 化学工業日報社発行

記載内容の問い合わせ先： 株式会社 オーテックコーポレーション 化成品課 ☎ 03-5718-7425

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い申し上げます。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。